



葉色が淡い場合は、中干しをせずに間断かん水を継続しましょう！



いもち病、斑点米カメムシの防除対策を徹底しましょう！

1 生育概況（5月上旬移植・コシヒカリ）

- ◇ 塩谷管内における生育診断ほの調査結果（塩谷町、那須烏山市）は、平年に比べ草丈はやや長く、茎数は平年並～少なく、葉色はやや淡い状態でした（表1）。
- ◇ 生育診断値（茎数×葉色値）は、塩谷町および那須烏山市では指標値を下回った。
- ◇ 今後気温が平年並に推移した場合、出穂期は平年より2～3日早く、5月第1半旬に移植したコシヒカリの出穂期は7月下旬～8月初旬頃になると予想されます。
（直近3年間の平均出穂期：塩谷町（8/3）、那須烏山市7/29）

表1 生育診断ほ調査結果（令和4年7月6日）

調査項目	塩谷町	那須烏山市	生育診断指標値※ （出穂前30日）
① 草丈	71.2（110）	77.0（107）	-
② 茎数（本/m ² ）	324（68）	536（105）	450～470
③ 葉齢	10.4（102）	11.9（104）	-
④ 葉色	3.8（84）	3.2（91）	3.9～4.2
⑤ 茎数×葉色値	1,234（58）	1,715（97）	1,800～2,050

※ 県北部、早植栽培、22株/m²植えの場合

※ 括弧内は平年比（%）

2 技術対策

（1）水管理

- ◇ 葉色が淡い場合は出穂まで間断かん水を継続し、根の活力を向上させましょう。
- ◇ 気象庁の1ヶ月予報（7月7日公表）によると、気温が平年より高くなる確率は60%で、高温に推移すると考えられます。出穂期以降、異常高温になりそうな際は、夕方～夜間のかん水により地温を低下させ、根の活力維持に努めましょう。
- ◇ 落水時期は出穂後30日以降とし、その後も高温・多照が続く場合はほ場条件を考慮して収穫7～10日前まで走水を実施しましょう。

(2) 追肥

- ◇ 生育進捗と生育診断値より、現時点での分施（基肥＋追肥体系）の追肥時期は、出穂 15 日前（幼穂長 18mm 目安）と予想されます。
- ◇ 間断かん水を続けて葉色の極端な色落ちを防ぎ、時期になったら窒素成分 3 kg/10 a（NK-202 号など）を追肥しましょう。

(3) いもち病対策

水稻の生育期間のほぼ全期間において発生し、イネいもち病菌が寄生すると発症します。葉、節、穂首の各部に寄生し、穂に感染した場合不稔になりやすいため、適宜防除しましょう。

湿度が高く、気温が低いと発生しやすいため、天気予報や下記の **BLASTAM** を活用して適期防除に努めましょう！（下記参照）

ア 葉いもち（写真 1、2）

- ◇ 箱施用剤を施用しなかったほ場では、水面施用剤で発病前に予防散布をするか、発生予察情報（感染好適日判定結果等）に注意し、水和剤・粉剤等で早めに防除を行いましょ。

※ 耐性菌の出現・拡大を防止するため、箱施用剤は異なる系統の薬剤を年次ごとにローテーションで散布しましょう。



葉いもち進展型



葉いもちずりこみ症状

イ 穂いもち（写真 3）

- ◇ 粒剤による防除は出穂前に行いましょう。
- ◇ 水和剤・粉剤等による防除は、出穂始めから穂揃い期に行いましょう。
- ◇ 穂揃い期後に多湿条件が続き、多発するおそれがある場合は、追加防除を行いましょ（本田防除剤は箱施用剤と異なる系統の薬剤を使用する）。



穂いもち（枝梗）

BLASTAM を活用しよう！

栃木県農業環境指導センターでは、様々な病害虫の予察・発生状況の調査等を行っています。HP にて BLASTAM（いもち病発生時期予測システム）を公開していますので、右のQRコードから BLASTAM ページを開き、感染好適条件になっているかチェックしましょう！



(4) 斑点米カメムシ対策

- ◇ 農業環境指導センターによる調査結果では、県内における斑点米カメムシ類全体の発生状況は平年より「やや少」でした（6月下旬時点：図1）。
- ◇ しかし、気象予報によると、今後平年より気温が高くなると予想され、気温の上昇とともにカメムシが水田へ飛来し、発生量が急増する可能性があります。
- ◇ 水田や畦畔のカメムシ発生状況をよく観察し、防除対策（除草、薬剤散布）を徹底しましょう。

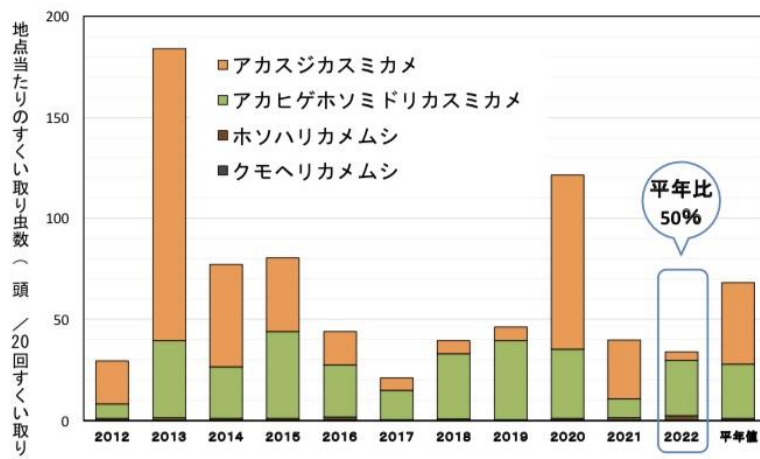


図1 斑点米カメムシのすくい取り調査結果（農業環境指導センター）

※令和4年6月下旬に県内40地点で実施、平年値は平成24年～令和3年の10年間の平均値

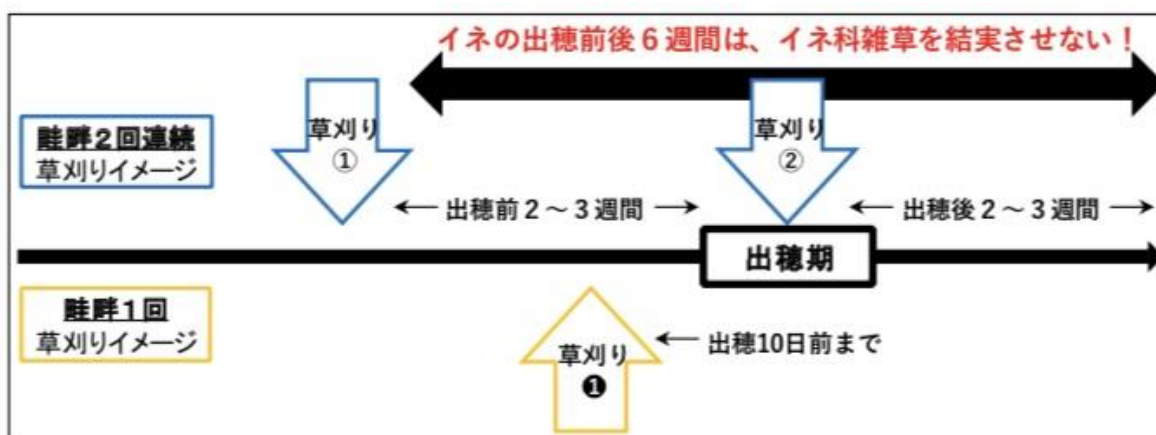


表1 水稻のカメムシ類に登録のある主な薬剤（令和4年6月22日現在）

農薬名	希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の系統	RAC コード
ダントツ粒剤	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	クロチアニジン	ネオニコチノイド	I:4A
スタークル液剤10	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジノテフラン		
エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	スルホキサフロル	スルホキシイミン	I:4C
MR. ジョーカーEW	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	シラフルオフエン	ピレスロイド	I:3A
トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	エトフェンブロックス		
キラップフロアブル	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	エチプロール	フェニルピラゾール	I:2B

注：RACコードが同一のものは作用点が同じなので連用を避ける。

農業環境指導センター「植物防疫ニュース」より引用

農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！

身支度も万全にしてまる！

- ① 農薬容器のラベルをよく読み正しく使う
- ② 農薬の飛散防止を徹底する
- ③ 農薬の使用状況を正確に記帳する